

ATAMACADEMY
基礎課題

表情



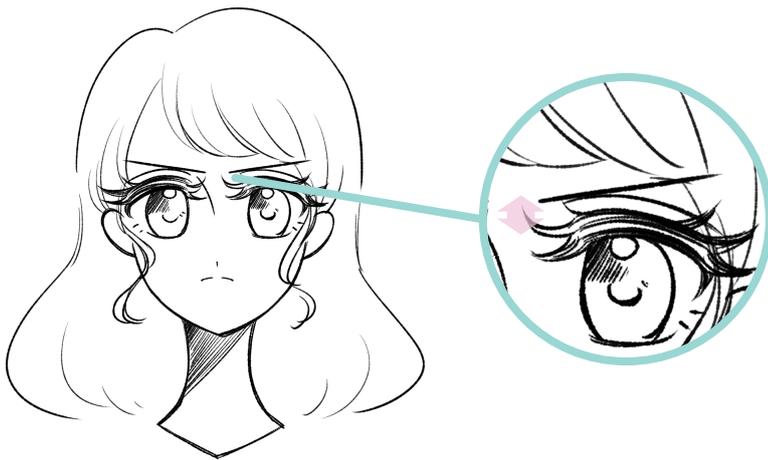
表情

キャラクターの表情を豊かにするポイントを知っていきましょう。

■眉毛（まゆげ）と目の間のキョリを意識する

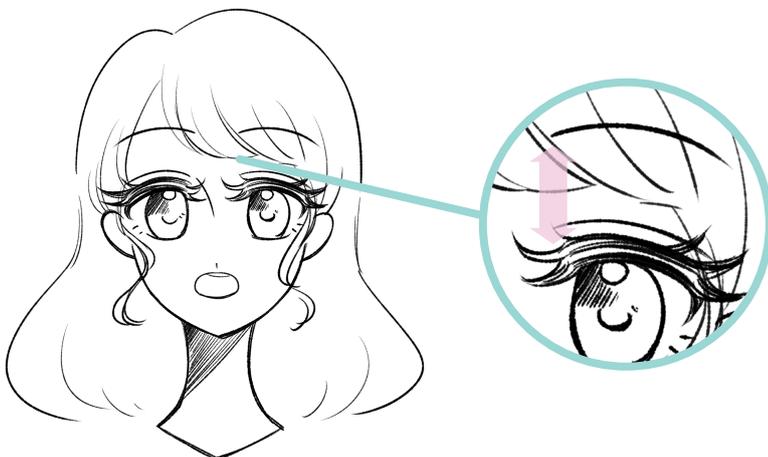
鏡を見て、いろいろな表情をした時に「**眉毛と目の間のキョリ**」を観察してみてください。

眉毛と目の間のキョリを意識することで、キャラクターの表情を豊かに描くことができます。



怒っている顔

怒った時はみけん（眉毛の間）にぎゅっと力が入り、しかめっつらになる。眉と目のキョリが近くなる。



驚いている顔

驚くと眉毛が上にあがるので目とのキョリが長くなります。まぶたもいつもより開くイメージ。

表情

キャラクターを描くときは、眉毛と目の間のキョリを意識することで、表情だけではなくキャラクターの性格まで表現することができます。

①



眉毛と目の間が離れている場合

②



眉毛と目の間が近い場合

右の絵と左の絵を比べてみて、それぞれどんなキャラクターに見えますか？

①



**少しやんちゃな性格
元気の良さが表現できる**

眉が上がっていることで目を見開いているように見える。なので、元気がよさそうに見える。

②

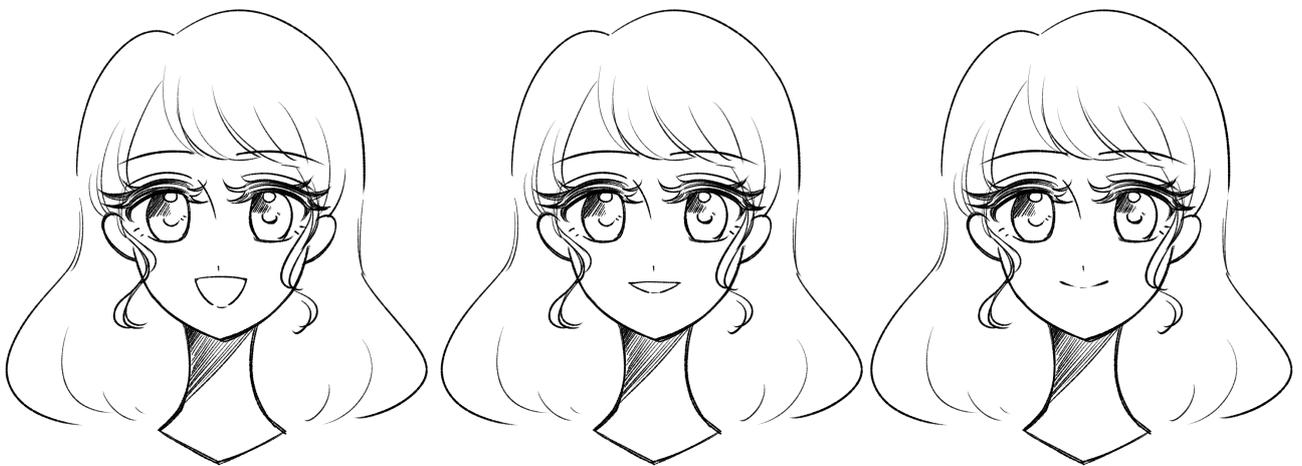


**落ち着いた性格
真顔に近く、
落ち着きのある表情**

眉毛の表現を少なくすると真顔に見え、感情をわかりづらくできる。

■口の大きさを意識する

口は言葉を発する部位です。それは、表情を豊かにする大切なパーツとも言えます。口は目と同じで、わずかな口の大きさの違いで様々な表情を見せることができます。

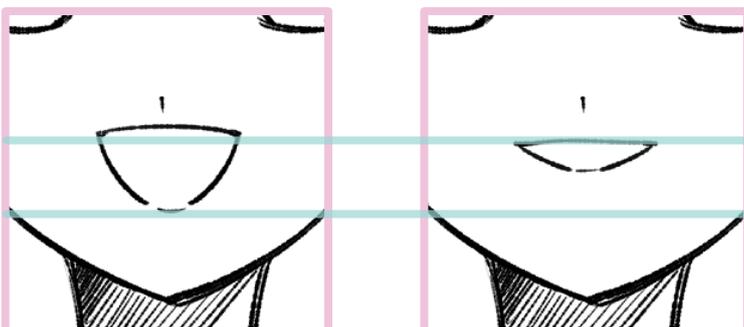


大きく口を開けて笑う

少し口を開けて笑う

口を閉じて笑う

口を大きく開けるほど元気に見えるのは、「はっきりと声を出している」ように見えるからです。口を小さく閉じていくほどほど、「小さく笑う」状態になることで少しひかえめな笑顔になっています。そして、口を閉じた笑顔は、「静かに笑っている」ような表情を作ることができます。

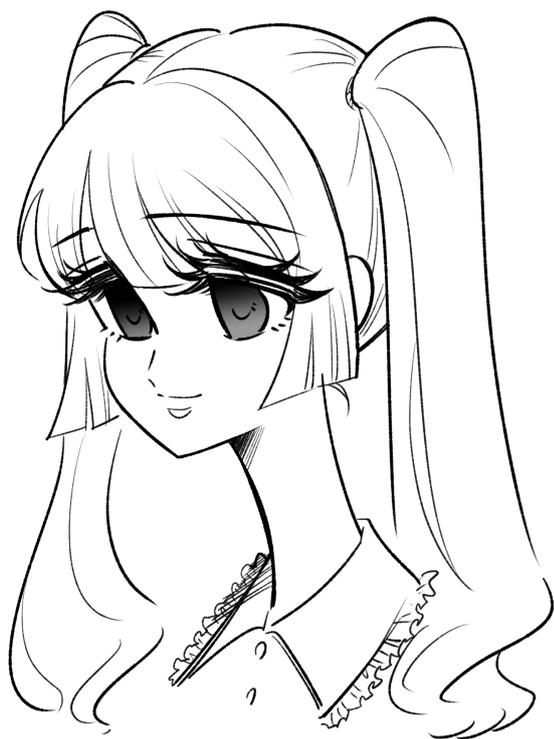


笑顔をイメージして口を開く場合は、下あごが開くので、「下くちびる」が動いて開いています。「上くちびる」の位置があまり動かないようにしましょう。

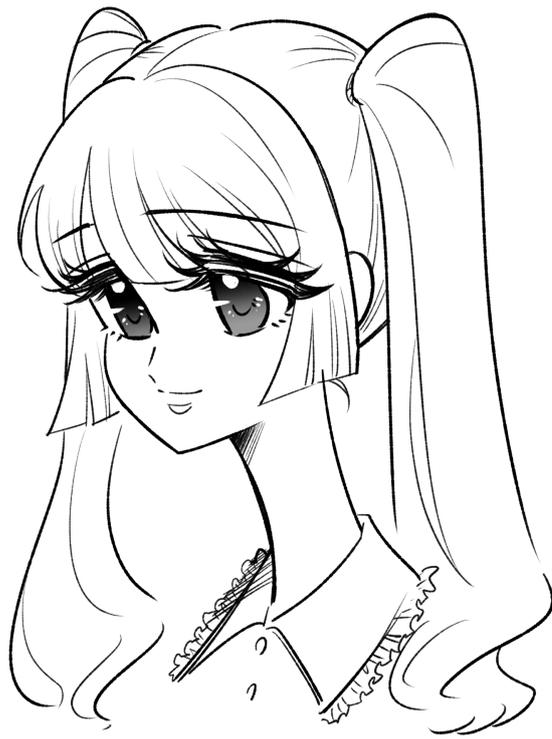
■目のハイライトの量を変える

目のハイライトとは目の中の「キラキラ」光のことです。この「ハイライト」のサイズや量を変えることでキャラクター性や気持ちに「変化」を作ることができます。

目の中に光があるほど、元気に見えます。それは、眼球がツヤツヤして見えるからです。生まれてすぐの赤ちゃんの目はできたてほやほやなので白目も真っ白でツヤツヤ輝いて見えますよね、それをイメージしてみてください。



ハイライトなし



ハイライトあり

ハイライトを無くすと「悲しさ」や「闇」を持った表情が作れます。**悲しいキャラクター**を作るときはハイライトを入れないのもオススメです。